

## 令和元年度第1回平地域審議会会議録

- 1 開催日時 令和元年9月27日(金曜)午後4時00分から5時15分まで
- 2 開催場所 南砺市平行政センター 201会議室
- 3 出席委員 10名 平本 和雄 北原 俊一 宮本 佳子 池田 庄平  
辻 清市郎 中村 全代 高田 哲親 南田 実  
中本 健也 浦田 夏子
- 4 欠席委員 3名 長田 一政 石井 純子 田島 芳美
- 5 市側出席者
- |             |               |
|-------------|---------------|
| 市長          | 上口市長政策部長      |
| 川森市民協働部長    | 柴市長政策部担当部長    |
| 荒木市民協働部担当部長 | 市川南砺で暮らしません課長 |
| 石崎行革・施設管理課長 | 竹中地方創生推進課長    |
| 平行政センター長    | 平行政センター次長     |
| 亀田地方創生推進係長  | 勇崎協働のまちづくり係長  |
| 西井秘書係長      | 影近協働のまちづくり係員  |

5 傍聴者 0名

6 審議事項  
議 題

(1) 南砺市総合計画 将来像について

その他

- (1) 庁舎統合に伴う各課の移転スケジュールについて
- (2) 市が事務局を担っている各種団体事務の方向性について
- (3) 令和2年度からの組織機構改革について

7 会議経過

○開会

司会(センター長)から開会の宣言を行う。

○会長あいさつ

宮本会長あいさつ

○市長あいさつ

田中市長あいさつ

○協議議題

宮本会長が議長となり、順次議事を進める。

(議 長) 南砺市総合計画 将来像について資料説明を求める。

竹中地方創生推進課長 資料1第2次南砺市総合計画策定の進め方（方針）について、事前配布した資料で詳細説明を行う。

亀田地方創生推進係長 資料1 追加資料第2次南砺市総合計画策定状況について、追加配布した資料で詳細説明を行う。

（議 長） 説明一巡後、意見交換と質疑を求める。

（委 員） 若者定住について若者の活躍や位置づけを強調してほしい。高校生  
A との未来ミーティングの効果はどうか？

（市 長） 若者の重要性は認識しており30年後のことを考えるのは若者だ  
と思う。

（委 員） 小規模多機能の推進についてバックアップをどれぐらいしてくれ  
B るのか。ほとんど漏れ落ちるのでは  
行政の手助けがなくなるのではないか

市川南砺で暮ら  
しません課長 小規模多機能自治の本旨として住民自治、市民と協働のまちづくり  
はまずは自分事として捉えることで組織づくりを進める。中身はこれから勉強会  
もしながら進むべき方向性としては、財源確保すべく収益事業になっていくよ  
うな例えば平地域でもおこなっている通所型サービスBなど球出しをしたい。

取り組み発表会など他地域も参考にしながら事務局を市の予算で支援しているが  
何れは新たな人材を雇用出来るような、法人化に向けて全国でも始まっている。  
時間はかかるが理解してほしい。

（市 長） 根本的な話として人口減少・少子高齢化を分析すると、右肩上がり  
で人口増から人口減少し15歳から65歳人口が激減し85歳以上が極端に増えてくる。  
行政と地域との従来との関係が大きく変わって行く。これまでは行政の掛け声と  
補助で動かすことが出来たが、今後は生産人口の減少によりこれまでの経験が通用  
しない社会となる。

今はその対応準備に取り組んでいる。

（議 長） どなたか意見ありませんか。女性の方はいかがですか。

(委員) C 出生する子供の数が減っている。保育園の年少3人という状況。テレビでみたのですが岐阜県では外国人労働者・生徒が増加。平でも外国の人が増えている。学校でも受け入れていけるのか。

(市長) ベトナムなど色々な国籍増えてきている。他国語に対応すべく呉西圏域事業で始まっている。とくにベトナムからの人が増えている。多様性の課題や防災対応について総合計画でも多様性を認め合う社会の構築という方針を掲げている。病院でも対応している。

柴市長政策部担当部長 市でも徐々に取り組んでいるが富山県ともタイアップして進めている。

(市長) 研修生制度も3年が5年に伸びることとなっている。

(委員) A 目指す将来像の例2の小さな世界文化都市というのはどういう意味か。控えめな目標なのか。

(市長) 自分が述べたフレーズを取り入れてくれたのですが、世界文化都市というのは顕著になり大げさになるので小さいけれども光る文化都市という意味です。

(委員) D 計画を語るときに若者に期待されることが多い。自分たちでは背負いきれない。仕事・家庭・地域の事、頑張れと言われるが、この場に若者少ない。

地域の若者も手一杯でありまだまだ元気な先輩方に引っ張って欲しい。

(市長) その通りです。地域を引っ張っているのは60代や70代なのです。従来は出生率ばかり掛け声を高めてきたが多様性の中で配慮して行きたい。

(議長) 昔はそれで良かったのでしょうか今は若者に期待が高すぎる。地域の事、65歳以上の方が多い。小規模多機能自治がスタートして良かった

たと思う。両方世代が必要を認め合って成功する。

(市長) 大鋸屋でも高齢者同士の除雪の助け合いなど効果が出てきている。また、視察を対象とした資料ビジネスも重視して行きたい。地域経済の一助になると思う。

川森市民協働部長 PR ですが、有志の幸せ未来基金もスタートしました。持っているお金とネットワークを活用してほしいという組織も有ります。

(議長) 以上、議論もつきましたので次に、次第のその他にうつります。宮本 当局より一括で説明を求めます。

石崎行革・施設管理課長 [資料2]と[資料3]で庁舎統合に伴う各課の移転スケジュールについて並びに市が事務局を担っている各種団体事務の方向性について事前配布した資料で詳細説明を行う。

上口市長政策部長 [資料4]で令和2年度からの組織機構改革について当日配布した資料で詳細説明を行う。

(議長) 説明一巡後、意見交換と質疑を求める。

(委員) 平でもスポーツクラブは発足時から行政に事務局はおいていない D と思います。

(市長) 分かりました。

(議長) 以上、議論もつきましたのでこの機会に意見があれば述べて下さい。宮本

(委員) 公共施設再編で(小谷地区丸山荘)は周辺10集落で一番使われている。今あるものをリニューアルして残してほしい。小谷地域には公民館一つも無い。地域が納得できるような残し方を図ってほしい。 E

上口市長政策部長 これまでマウンテンスクールを残す方向から丸山荘を残す方向で検討中。補助金の関係で時期が来たらマウンテンスクールは解体する。機能アップは難しいと思います。

(委員) 下梨の春光荘と上梨のこきりこ館を存続するのであれば小谷地域  
A には丸山荘しかない。10集落が利用している。避難機能も必要。

(市長) 地域の決断は重く受けております。施設の機能も理解しています。

(委員) 地籍調査早急に！取り組んでほしい。山の不在地主だらけになり孫  
F がいる間に始めてほしい。

(市長) 全国でも予算的には余裕は生まれつつあるので早急に進めたい。

(委員) 地籍調査に明日から取り組みます。  
G それと行政センターには地元出身者を配置してほしい。

(センター長) 当初お示した時間もまいりましたので、これで質疑を終了したいと  
思います。閉会にあたり、長田副会長が欠席のため宮本会長に閉会のご挨拶をしていただきます。

(議長) 貴重な時間ありがとうございました。地域審議会はなくなりますが  
宮本 地域づくり協議会が発足しそちらからの提言や意見集約が大切となると  
思います。

(センター長) 宮本様ありがとうございました。  
これをもちまして、令和元年度第1回平地域審議会を閉会いたします。  
それでは皆様、長時間お疲れ様でございました。気をつけてお帰り下さい。